

府中市が抱える問題

まちをもっと元気に

人口減少・少子高齢化

災害への不安

など

府中市総合計画 ー問題に対応していくためにー

■計画を進めるための4つの視点

こどもの声が聞こえるまち

ものづくりのまち

安心して暮らせるまち

学びあふれるまち

■6つの基本目標

都市基盤づくり

集約したまちづくりと、公共交通でのネットワーク構築により、人口減少社会でも現在の生活レベルをなるべく維持できるようにします。



市街地の将来イメージ

生活環境づくり

下水道、公園、ごみ処理施設などの衛生環境の整備や、防災減災対策の環境づくりなど、快適で安心して暮らせるまちづくりを進めます。



地域資源を活用したまちづくり

伝統のものづくり産業や農林業の振興を図るため、人材育成や起業する人を支援していきます。また、豊かな自然環境や観光資源を生かした観光産業の振興を図ります。



教育・スポーツ・文化のまちづくり

学校・保護者・地域が協働して学校運営に取り組むコミュニティ・スクールの推進やスポーツ振興、文化継承など、生涯を通じて学ぶ喜びを実感できる環境をつくりまします。

健康地域づくり

いつまでも元気で活躍できるよう、保健・医療・福祉が連携したさまざまな施策に取り組みます。また、府中市で子育てしてよかったと実感できるまちづくりを進めます。



市民協働のまちづくり

地方分権時代における地域サービスの実施主体として、市民・地域・企業・行政が協働でまちづくりを行う環境づくりに努めます。

10年後の府中市

「笑顔で豊かに暮らせる」まちを目指して

誰もが快適な生活を送れる環境づくりを行うことで、大都市などへの人口流出を低減させます。また、他のまちから府中に住んでみたいと感じてもらえるよう、積極的に市のPRを行います。とりわけ、子育て世代の人に定住してもらうことで、こどもの声が聞こえるにぎやかで活力あるまちづくりを目指します。

そして、地場産業を元気にし、働く場を確保することで、生活環境づくりとの相乗効果により、地域経済成長と人口減少抑制の好循環を目指します。

第4次府中市総合計画を策定

『笑顔で豊かな暮らしができる府中市』を目指して

～支えあい みんなで創る 府中愛～

問い合わせ先 企画財政課 (☎43-7118)

総合計画とは、10年後の府中市をデザインした計画です

総合計画は、今後10年間で府中市をどのようなまちにしていくかを示したもので、これから市が行う事業などの基礎となります。

限られた財源、資源を生かして、暮らし続けたいと思えるまちづくりを行うため、これまでの取り組みや府中市を取り巻く情勢を考慮したほか、市民意識アンケートなどによって市民ニーズを反映しました。

計画を策定するまで

平成27年

1月	市民意識アンケート	7月	審議会
5月	市民ワークショップ	10月	パブリックコメント募集
7月	市長と町内会との懇談会	12月	市議会で基本構想可決

市民意識アンケートの結果、医療体制の充実や社会保障に関する施策を望む声が多かったことなどから、今回の総合計画は、ソフト面に重点を置いたものとなっています。

今後は、基本構想をもとにした基本計画、実施計画を策定し、各事業を進めていきます。



市民ワークショップの様子

総合計画策定にあたって私が市長に就任して初めての総合計画策定となりました。当初から市民の皆さまのご意見を十分にお聞きし、可能な限り反映するよう努めてきました。審議会や懇談会、市民意識アンケート、一般の参加者を公募したワークショップといった機会を通じて、貴重なご意見を聞くことができ、市民の皆さまと一緒に作り上げた総合計画であると自負しております。

来る人口減少社会は、今後確実に皆さまの生活に影響をもたらします。誰も経験したことのない人口減少社会への対応を今始めなければ、将来の子どもや孫に大きな負担を強いることとなります。

市としても、この総合計画の実現に向けて全力で取り組みますので、市民をはじめ、地域、企業、皆さまのご協力をお願いします。

府中市長 戸成義則

